

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和2年 5月31日 報告

担当課

社会福祉課

補助金等の名称	佐倉市社会福祉協議会事業推進費補助金(人件費)						
予算科目	一般会計 款 3 項 1 目 1						
予算事業名	地域福祉推進団体助成事業						
実施計画の位置づけ	人と人とのふれあい、交流があり、ともに支え合うまちづくりを推進します						
補助金分類	Ⅱ：市との連携により事業を実施する団体への財政支援						
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし					千円	
交付先	社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会						
支出根拠規定	佐倉市社会福祉協議会事業推進費補助金交付要綱						
補助の目的	社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会が、実施する地域に密着した地域福祉推進事業を補助し地域福祉の推進を図る。						
補助の効果	社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会の地域福祉推進事業が、地域で継続的に実施されることにより、地域福祉の充実、向上を図ることができる。						
補助対象事業の 具体的内容	①地域福祉推進事業(地域福祉活動計画、地区社会福祉協議会活動支援、福祉団体及び施設協議会活動支援等) ②ボランティア推進事業(ボランティア活動支援・普及推進、災害ボランティアセンター体制整備、福祉教育活動の推進、ボランティア活動助成、おもちゃ図書館の運営等) ③生活支援・権利擁護推進事業(善意銀行(金銭、物品の預託、払い出し、小口貸付)、法人後見事業、福祉総合相談事業(法律相談、心配ごと相談等)) ④法人運営事業(組織運営(事業、財務、人事管理)、企画、広報、研修、会員募集、社会福祉法人連携強化等)						
対象経費及び補助率	補助対象経費：補助対象事業に従事する職員7人分 ①職員俸給及び諸手当(給料、管理職手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外手当、期末手当、勤勉手当) 注1)管理職手当、扶養手当、住居手当、通勤手当は法人運営事業に従事する職員のみ。 ②社会保険料等(健康保険料、厚生年金保険料、労働保険料(労災保険及び雇用保険)、児童手当拠出金等の法定福利費のうち事業主負担分) ③その他(職員退職給与引当金預金及び共助会共済掛金の事業主負担分) 注2)法人運営事業に従事する職員のみ。 補助率：実支出額又は基準額のいずれか少ない額(職員7人分)						
補助金額の根拠	①地域福祉推進事業9,784,800円(基準額) ②ボランティア推進事業4,892,400円(基準額) ③生活支援・権利擁護推進事業4,892,400円(基準額) ④法人運営事業18,573,000円(実支出額) ※実支出額又は基準額のいずれか少ない額						
備考 1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他	社会福祉法人佐倉市社会福祉協議会は、市民を対象に市内全域を活動範囲とする地域福祉推進団体として社会福祉法に位置付けられた公共性の高い団体です。同協議会の、日常生活に課題を抱えている方への支援など市行政を補完するような役割を持つ事業や、ボランティアセンターの運営など市民協働を推進する事業が、地域福祉の充実向上に欠くことのできない事業なため、交付基準を超えて補助するものです。						
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課		社会福祉課	
補助金等の名称		佐倉市社会福祉協議会事業推進費補助金(人件費)			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	38,501	・ボランティアあっせん90件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付50件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数42,000組	32,957	・ボランティアあっせん163件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付86件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数41,143組	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	地区社協研修会の回数は目標達成できました。地区社協福祉委員とともに災害ボランティアセンター設置運営等に関する研修が充実されました。地区社協研修内容やボランティアセンターの充実が図られるよう社協に依頼します。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	38,501	・ボランティアあっせん90件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付50件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数42,000組	30,329	・ボランティアあっせん121件 ・地区社協研修会年6回 ・善意銀行貸付78件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数39,840組	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	地区社協研修会の回数は目標達成できました。地区社協福祉委員をはじめとする地域住民の参加による災害ボランティアセンター運営に関する研修が充実されました。地区社協研修内容やボランティアセンターのより一層の充実が図られるよう社協に依頼します。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	38,501	・ボランティアあっせん90件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付50件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数42,000組	37,708	・ボランティアあっせん127件 ・地区社協研修会年6回 ・善意銀行貸付103件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数39,394組	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	地区社協研修会の回数は目標達成できました。地区社協福祉委員をはじめとする地域住民の参加による災害ボランティアセンター運営に関する研修が充実されました。地区社協研修内容やボランティアセンターのより一層の充実が図られるよう社協に依頼します。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	38,501	・ボランティアあっせん90件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付50件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数42,000組	36,914	・ボランティアあっせん122件 ・地区社協研修会年6回 ・善意銀行貸付113件 ・心配ごと相談週3回 ・会員数38,965組	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	地区社協研修会の回数は目標達成できました。地区社協福祉委員をはじめとする地域住民の参加による災害ボランティアセンター運営に関する研修が充実されました。地区社協研修内容やボランティアセンターのより一層の充実が図られるよう社協に依頼します。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	38,501	・ボランティアあっせん90件 ・地区社協研修会年5回 ・善意銀行貸付50件 ・心配ごと相談週2回 ・会員数42,000組	38,143	・ボランティアあっせん139件 ・地区社協研修会年6回 ・善意銀行貸付106件 ・心配ごと相談週2回 ・会員数38,001組	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	地区社協研修会の回数は目標達成できました。地区社協福祉委員をはじめとする地域住民の参加による災害ボランティアセンター運営に関する研修が充実されました。地区社協研修内容やボランティアセンターのより一層の充実が図られるよう社協に依頼します。				
計画期間終了後の最終的な目標値		・ボランティアあっせん90件 ・心配ごと相談週2回 ・地区社協研修会年5回 ・会員数42,000組 ・善意銀行貸付50件			
計画期間終了後の最終的な成果値		・ボランティアあっせん139件 ・地区社協研修会年6回 ・善意銀行貸付106件 ・会員数38,001組 ・心配ごと相談週2回(相談者の減少により、相談回数目標値を令和元年度から変更した)			